

ヴェルツブルク
ユリウスシュピタル
醸造所

Weingut
Juliuspital
Würzburg

財団法人ユリウスシュピタールは時のヴェルツブルク司教ユリウス・エヒター・フォン・メスペルブルン侯によって西暦1576年に設立されました。現在も、近代的な病院ならびに養老院が運営されており、ユリウスシュピタール醸造所は財団設立当時からの一部として存在し続けてきました。そしてその収益は常に財団の経済基盤を支えて社会に貢献してきました。ユリウスシュピタールの司教館やその地下に広がる古いワインセラー、また庭園内のガーデン・パヴィリオンや噴水像などはワイン産地フランケンの中心地ヴェルツブルクのシンボリック的存在として、この地方の芸術文化を物語っています。

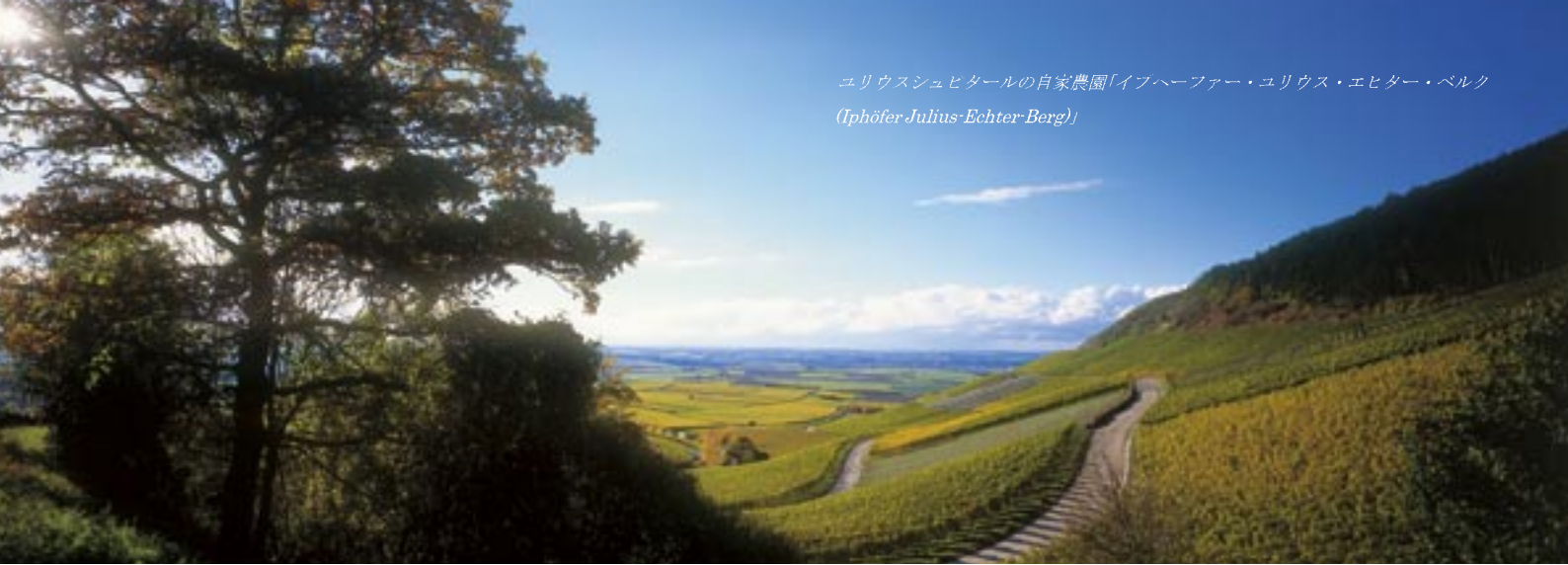
ユリウスシュピタール醸造所は168ヘクタールものワイン畑を所有し、ドイツ国内でも最も有名な醸造所の一つとして知られています。永年にわたり培われてきたワインの品質は、世界各地でも高く評価されてきました。自然との共生を実現してきたユリウスシュピタールのワイン作り。フランケン地方に欠かせない存在を築き上げたその400年以上もの歴史と伝統は、私達のワイン作りに確信を与えています。



ヴェルツブルク・ユリウスシュピタール醸造所は、ワインを通じて社会に貢献し、貴重な文化遺産を守り続けるという責務を現在もしっかり果たしています。

ユリウスシュピタール醸造所のワインやゼクトそして様々な催し物を通じて、私達の社会貢献に対する熱意を一人でも多くの方にお伝えできればと願っています。





ユリウスシュピタール醸造所は、フランケン地域の最高級畑を所有しています。ヴェルツブルガー・シュタイン(Würzburger Stein)、ヴェルツブルガー・イネレ・ライステ(Würzburger Innere Leiste)、ランデルスアッカー・フェルベン(Randersackerer Pfülben)、レーデルゼアー・キューヘンマイスター(Rödelseer Küchenmeister)、イプハーファー・ユリウス・エヒター・ベルク(Iphöfer Julius-Echter-Berg)、フォルクアッハー・カルトホイザー(Volkacher Karthäuser)、エシェンドルファー・ルンプ(Escherndorfer Lump)などの畑は中でも特に有名です。

ワインの品質は畑で育ちます。機械化が困難な急斜面での作業や手摘みによる収穫作業、また収穫量の極度な制限などは、ユリウスシュピタール・ワインの品質を根本から支えています。

イプホーフエンやレーデルゼー周辺はギプスコイパーと呼ばれる石灰に赤色泥灰土が混じる独特の土壌です。ここでは長期保存が可能なボディーのしっかりしたワインができます。貝殻石灰岩質の土壌でできたヴェルツブルク、ランデルスアッカー、トゥンガースハイム、フォルクアッハ、エシェンドルフの街の畑からは、エレガントで繊細な果実味とミネラル感を含んだワインができます。そして雑色砂岩質の土壌のビュルクシュタットでは、タンニンが程よく効いた上品でフルーティーな赤ワインができます。

ユリウスシュピタール醸造所では様々な品種のブドウが栽培されています。白ワイン品種としてはシルヴァナー、リースリング、リースラーナー、ヴァイスブルグンダー、グラウブルグンダー、ミュラー・トゥルガウ、バッフース、ショイレーベが、赤ワイン品種としてはシュペートブルグンダー、ドミナ、シュヴァルトリースリング、また珍しい品種のトラミーナーやムスカテラーも栽培されています。



人と自然の調和

醸造過程で最も重要なのは、畑で収穫されたブドウの品質をワインとして表現すること。完熟したフレッシュなブドウは、最新鋭の醸造設備を用いて、それぞれのブドウ品種の特徴を大切に引き出したワインができあがります。発酵後もワインは酵母と共にゆっくりと寝かされ、その後大小の木樽でさらに熟成を重ねます。ステンレスタンクと木樽の使用を巧みに組み合わせ、それぞれのワインの特徴に合った製造方法がケラーマイスター(醸造責任者)の判断で決定されます。

司教館の地下にある古い木樽のセラーは、現在でもワイン作りにおいて、重要な役目を果たしています。ここで醸造家達は自然の恵みをワインという形に作り上げます。

ワインの品質に対するユリウスシュピタール醸造所の熱意と努力。これは永年にわたって国内外で受賞してきた数々の顕彰が物語っています。



ブドウの品質がワインを創る



ユリウスシュピタール醸造所では様々なタイプのワインを生産しています。

グーツワイン(Gutswein)

軽やかで爽やかな口当りのグーツワインは、フランケン特有のワインボトル「ボックスボイテル」もしくはボルドーボトルに入っています。アロマやフレッシュな味わいを保つため、ワインは低温で発酵させられます。気軽な場面で楽しめるワインです。

ラーゲンワイン(Lagenwein)

ラーゲンワインはフランケンを代表するキャラクターのワインです。フランケン地域の各畑が持つ独特の土壌や気候がワインの特徴としてはっきりと表れています。この地域ならではのワインです。

グローサー・ワイン(Grosser Wein)

グローサー・ワインはテロワールを重視し、その畑のポテンシャルを最大限に活用した最高級ワインです。この地域で伝統的に栽培されているブドウ品種から作られるトップクラスの辛口シュペールレーゼ、上品で奥深い味わいの甘口貴腐ワインが私達のグローサー・ワインです。味にしっかりした厚みを感じられ、歳月と共に素晴らしい瓶熟成が期待できるワインです。世界に誇るトップワインとすることができるでしょう。

ボックスボイテル、ボルドーボトルに入ったグーツワインは気軽な場面で



グーツワイン

ラーゲンワイン

グローサー・ワイン



個性が輝く
ラーゲンワイン



卓越した品質

ユリウスシュピタール醸造所のグローサー・ワイン



ヴェルツブルガー・シュタインの畑から見えるヴェルツブルクの街とマリエンブルク

ユリウスシュピタール醸造所では、ワインテースティング会をはじめ、古い木樽のセラーやユリウスシュピタール財団の司教館見学、また毎年行われる文化祭など、様々な催し物が開催されています。

ツェントショイネと呼ばれる建物の中の趣ある会議室や、ユリウスシュピタール庭園内にあるガーデン・パヴィリオンは、様々な行事のために一般にも貸し出されています。

バロック様式の建造物で有名なヴェルツブルクの街とワイン産地フランケン。モーツワルト祭やマリエンブルク要塞、ヴェルツブルク城、またヴェルツブルクの街を見下ろしながらのワイン畑散策など、ここでは歴史文化と自然の両方を満喫することができます。

新しくオープンしたユリウスシュピタール・ワインレストランでは、フランケン地方の郷土料理とユリウスシュピタールのワインを存分にお楽しみ頂けます。



ヴェルツブルクと ユリウスシュピタール



ヴェルツブルク

ユリウスシュピタル醸造所

Klinikstrasse 1
97070 Wuerzburg
Tel.+49 931 393 14 00
Fax+49 931 393 14 14
weingut@juliusspital.de
www.juliusspital.de

醸造所直営販売所
「Weineck Julius-Echter」
Koellikerstrasse 1/2
97070 Wuerzburg
Tel. +49 931 597 77

ワインレストラン
Juliuspromenade 19
97070 Wuerzburg
Tel.+49 931 540 80
毎日営業



VDP. Die Prädikatsweingüter

